

令和7年度

学校教育コース 教育学専攻
推薦Ⅰ 入学試験問題
(小論文)

注意事項

1. 「解答をはじめ」の合図があるまで、冊子を開かないこと。
2. 問題は全部で2問である。両方とも解答すること。
3. 受験番号は、解答用紙上の指定された箇所に必ず記入すること。すべての解答用紙に記入すること。
4. 試験終了後、問題用紙・解答用紙ともに回収するので、持ち帰らないこと。

問題1 (配点 60)

「個別最適な学び」と「協働的な学び」について書かれた以下の文（【出典】奈須正裕「ナゴヤ学びのコンパス」に期待すること 名古屋市教育委員会著 中谷素之・松山清美編 学校は誰のもの? ～子ども主役の学校へ、いま名古屋から～ 東洋館出版社 2024 所収）を読み、問題1 (1)と問題1 (2)の解答を「解答用紙(問題1 (1))」と「解答用紙(問題1 (2))」にそれぞれ記述して下さい。

著作権の関係上、公開しません。

問題1 (1) 自分が小学生のときの学びの体験を振り返り、「協働的な学び」と呼べる体験の例を具体的にひとつ挙げ、①例とする学びの体験の具体的な内容を記述し、②例とする学びの体験における「良かった点」と「改善の余地のある点」をその理由とともに記述してください。「解答用紙(問題1 (1))」の記述については、①例とする学びの体験の具体的な内容、②例とする学びの体験における「良かった点」と「改善の余地のある点」およびその理由を、①、②それぞれ所定のスペースに記入すること。

問題1 (2) 教師になったときに「協働的な学び」を念頭にどのような授業を行いたいと思いますか。「自分は小学校6年生の担任である」という想定で、①自分が小学校6年生の児童に授業を行うときに「協働的な学び」を意識して工夫したいことを例として具体的な教科および単元を挙げながら記述し、②自分が「協働的な学び」を意識して工夫したことを通じて期待できる効果をその理由とともに記述してください。「解答用紙(問題1 (2))」の記述については、①自分が工夫したいと考える内容、②その工夫により期待される効果および理由を、①、②それぞれ所定のスペースに記入すること。

解答用紙（問題 1（1））

受験番号	番
------	---

問題 1（1） 解答欄

①

②

問題 2 (配点 40)

以下の文を読み、問題に答えなさい。

著作権の関係上、公開しません。

汐見稔幸 2021 「教えから学びへー教育にとって一番大切なことー」 河出書房

問題 汐見が考える「教えから学びへ」という観点から、小学校6年生の国会の単元（衆議院と参議院、選挙権、被選挙権など）を例に、なにを大事にしたいかを含め、具体的にどのような授業を行えばよいかについて考えて、記述しなさい。

